



## “新しい年に想う”

### ‘断捨離’・・・できるかな？

東部地域づくり協議会 会長 佐藤 勲

#### i 出張買い取り・LP盤レコード。

レコード高価買取!! (☆LP盤のみの買い取り、☆現金即払い等) というチラシが新聞折り込みにあったので、‘断捨離’のつもりでいたLPレコードを処分しようと‘決断して’わざわざ埼玉県の本社から当地へ出張買い取りに来てもらいました。冷たい雨のなかすっかり暗くなった午後6時頃、自宅に来てもらい、さて査定です。

買い取り査定に該当したLP盤は40枚で、一括買い取り価格は1,000円(1枚当たり25円)でした。

#### ii ‘思い出’は経済的換算では100分の1。

なんと、私の若い日々からの、愛着の、思い出の、こだわりの一枚一枚のLPレコードに託した‘思い出’が経済的価値で換算すれば約100分の1(1/100)に目減り、劣化しておりました。

あの青春の日々の‘思い出’が、それだけに年月を問わず、こだわりのあるものが経済的という評価基準を借りてみれば、すでに100分の1に減価、縮小していることに驚きました。

#### iii 二束三文でも眺めていれば気分が良い。

この伝でいけば、本類も同じことになるでしょう。胸をときめかせ、頭を良くしてくれた？あの本、この本も二束三文かと思うと何もしないで背文字を眺めている方が気分が良いようです。

iv 終活になれば、やっぱりただのゴミを残しておくわけにはいかないようです。

やましたひでこ先生の「断捨離」のテレビ番組を見ていると、どなたも部屋や廊下が手のつけようもなく、物々に溢れた状態からすっきり、身軽、清潔でがらんだりの雰囲気になってしまうこと

に驚かされます。

「思いっきり捨てる！迷ったら捨てる！いつか使うはない！」・・・あの気前のよい捨てっぷりには驚かされます。

v 「断捨離」は名文句・・・5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)では家中の片付けに気分が乗らないかも。

わたしは現役のころ、いろんな企業(会社)でお客様に喜んで頂き、またコストダウンにつなげて品質の高い製品、サービスを提供していくために5S活動を展開していくことなどにお手伝いしてきました。しかし、いざ自分の身の回りを片付けることには、なぜか5Sの発想を取り入れようとせず断捨離のことばに飛びついているところ です。

vi 五木寛之の「捨てない生きかた」(マガジンハウス)も捨てがたい。

‘思い出’が喩え100分の1に勝手に換算されようと、わたしにとってはいつまでも目減りすることのない、甘美でまたあるものは苦渋の証しであったりするものもあるけれど、それはいつまでも捨てられるものではありません。

vii ‘思い出’という頭の産物に同伴するものは人生の宝物です。

目減りしない‘思い出’は人生の宝物ですから、いつまでも若々しく、元気の元になります。

したがって、逆説ながら、‘思い出’につながらないものはなんでもきれいさっぱり捨てられるという事になるようです。

# 水 害 記 事

## 大雨災害における町内会活動

横森五丁目町内会長 武内 仁

東部地区に位置し太平洋に接する横森五丁目町内は、床上浸水、床下浸水併せて251世帯の約7割が被害に遭いました。16日町内会に水害対策本部を設置して、個人の車庫を借りて自主防災隊員15名が中心になり活動を開始し、17日全世帯の安否確認と被害状況を調査し災害状況をまとめ、18日市役所の関係部局、保健所、社会福祉協議会を訪問し適切な対応を依頼しました。早速19日から被害世帯に社会福祉協議会からのボランティアが来て作業を開始し、21日には複数の県内外のボランティア団体からの支援物資（土のう袋、軍手、消毒液、噴霧器、飲料水、おやつなど）を受領し、それらを配布、貸し出しをすることが出来ました。また27日には行政書士会の応援を得て罹災証明書申請手続き代行（40名申請）をしていただきました。その後災害ゴミの収集場所の監視、支援物資の配布、貸し出し、相談など続けました。このような町内会の動きが不安に駆られている住民に安心感を与え、心強く思っていたようです。

災害時には市役所に頼るわけですが、今回のように被災地域が広範囲な場合には迅速、適切な対応は期待できなくて、地域住民が助け合う共助の大切さを痛感しました。

当町内会が比較的早めに対応できたのは、日頃の町内会活動を通じて住民同士のコミュニケーションが出来ていたからだ、会員に感謝しています。



横森五丁目水害対策本部



横森地区 水没状況

## 令和5年7月15日大雨による広面地区の被害について

広面地区連合町内会長 佐々木 卓郎

令和5年7月14～15日の大雨により、広面地区は過去に経験したことが無いような大変な被害を受けました。被害状況を見ると、太平洋の氾濫、内水氾濫により住宅の床上浸水、床下浸水、自家用車の水没、道路の通行止め、等多大な被害で、300世帯近い床上浸水、更に床下、小屋、車庫などの被害は把握しきれない状況です。道路は、幹線道路の秋田岩見船岡線が谷内佐渡で水没し、柳田太平方面への交通がストップしました。迂回道路も水没まで行かないまでも車の走行は非常に難しい状況でした。また、住宅地内の道路もほとんど浸水状態でした。

特に、被害が大きかったのは、太平洋と横山金足線に囲まれた柳田、谷内佐渡、地産団地、山崎団地、山崎南団地等の町内等でした。

昭和40年代半ば以降、市街化した広面地区として初めての全域に広がった大雨被害であり、その被害の状況の写真です。



中央道から大学病院方向 浸水状況



谷内佐渡 車水没状況

# いーぱるふれあい芸能交流会



中村さん・皆川さん



フルート&オカリナの会



フラ・ハイビスカス



手形山麓会



Moon Rabbits



August Moon



祥舞会



佐藤 修さん



まちづくり部会は、東部地域のより一層の活性化を目指して活動しています。昨年度からは、増加している休耕地を魅力的な資源としてプラスに捉え、「未来を耕すプロジェクト」を進めています。今年度は、初めて夏野菜づくりに挑戦しました。関心をもってくださいご家族、近くのデイサービス利用の方、国際教養大学の学生など、多くの方々と一緒に作業することができました。収穫した野菜は、参加者みんなで持ち帰って味わったり、高齢者施設や子ども食堂等に提供したりしました。これらの活動の様子が秋田市の広報番組で紹介され、まちづくり部会の活動を広く知っていただくよい機会となりました。



「未来を耕すプロジェクト」を進める中で出会ったみなさんの笑顔は、私たちが活動を続ける上で大きな励みになりました。来年度は、活動拠点である畑を、【気軽に集い、仲間づくりの輪を広げる場として活用していきたい】と考え、メンバーみんなで構想を練っているところです。仲間を募集中です。→→→→



## 秋田市東部市民サービスセンター いーぱる

[施設利用の申込み]

TEL.853-1683

FAX.834-1863

[取扱業務の問い合わせ]

TEL.853-1039

FAX.834-1829



[URL]<http://scepai.ec-net.jp/default.html>

〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町13番地3